



『たき火』上映
高正次氏トークショー

日本のろう映画を開拓した鬼才、
深川勝三監督 幻の遺作を上映!

2014. **2/2** [日]

▶ 10:00 ~ 17:00 JUDY LIEFF

龍谷大学 きょうと
アバンティ 響都ホール

〒601-8003 京都府京都市南区東九条西山王町31
アバンティ9階(京都駅八条東口より徒歩1分)

チケット 一般:1,000円
学生:500円 未就学児:無料

第10回さがの聴覚障害者映像祭 実行委員会
事務局(全国手話研修センター企画課)
〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4
FAX 075-873-2647 TEL 075-873-2646
ホームページ <http://www.com-sagano.com/>

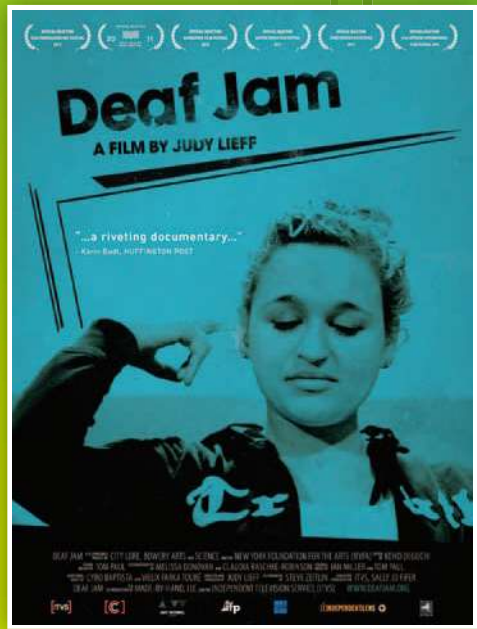
お問い合わせ

第10回さがの聴覚障害者映像祭

映像を作る側と見る側が築く映像祭



第10回 映像作品コンクール
応募作品上映



『Deaf Jam 手話の詩』上映

アメリカのろう高校生アナタ・ブロッズキーを追うドキュメンタリー。アメリカ手話ポエトリーに出会ったアナタの夢とは?

Deaf Jamはシティーローア、ニューヨーク芸術財団、ボウエリー芸術科学、そしてアーバンワードニューヨークシティの出資によるプロジェクトです。

<http://www.deafjam.org>

- 主催：龍谷大学社会科学研究所労働統合・共生経営研究センター 第10回さがの聴覚障害者映像祭 実行委員会
- 共催：映像教育研究会
- 後援：一般財団法人 全日本ろうあ連盟
- 協賛：社会福祉法人全国手話研修センター 特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構



大舘 信広



今村 彩子

聞こえない 映像作家 × 聞こえる 映像作家
トークショー

進行 横地 由起子 (京都シネマ支配人)



濱口 竜介

1 特別企画

10:00~11:30

深川勝三監督 幻の遺作『たき火』上映



撮影当時の高正次氏(左)と
深川勝三監督(右)

父親のクリーニング屋を手伝っていたろう青年は、家庭不和の暮らしがいやになり、父親の許可を得て北海道を飛び出し、東京へ向かった。憧れの東京で、田舎者とバカにされた青年は有り金をはたいて服や靴を買う。都会人だと見栄をはり歩いていた彼は、通りかがりの男に足を踏まれる。そこにいた靴磨きの若い女性が青年を手招きした。彼女はろう者だった。これが縁で、青年は運命の渦に巻き込まれていく。奇縁そして家族間の葛藤、青春、昭和時代のろう者の自立と成長を描く。2013ローマ国際ろう映画祭特別出品。

35分(短縮版) 1972(昭和47)年 監督:深川 勝三 短縮版編集:おおだてのぶひろ



高 正次



おおだてのぶひろ

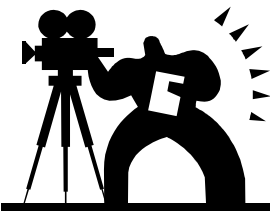
トークショー『たき火』メイキング

高 正次(たか・しょうじ): 睦(むつみ) 聾啞映画保存会会長。1935年1月神奈川県横浜市生まれ、同在住。1958年手話劇「ハムレット」レータス役を演じたことが深川勝三監督作品「楽しき日曜日」出演のきっかけとなり「三浦浩翁半生記」「たき火」にも出演した。

2 応募作品上映

12:30~14:00

第10回 さがの聴覚障害者映像祭 映像作品コンクール
応募作品上映 (審査発表・講評 16:30~17:00)



- [審査員]
- 池田 和生 (元KBS京都放送ディレクター)
 - 井上 泰治 (映画監督、主な作品に「水戸黄門」ほか)
 - 今村 彩子 (スタジオAYA代表)
 - 大館 信広 (デフムービーエンターテインメントプロディア代表)
 - 高田 英一 (特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構 理事長)
 - 津田 正夫 (元立命館大学教授、元NHKチーフプロデューサー)
 - 早瀬 憲太郎 (映画「ゆずり葉」「命のことづけ」監督、「NHKみんなの手話」講師)
 - 横地 由起子 (京都シネマ支配人、映像教育研究会事務局長) <五十音順>



3 特別上映

14:05~15:20

『Deaf Jam 手話の詩』上映



アネタ・ブロッズキーはニューヨーク市クイーンズ区のろう学校に通う、ポップで表情豊かな高校生。世界中を旅して色々な人に出会うのが夢だが、同じ学校のろうの友達しかいない現実に将来の不安を抱えている。課外活動で手話でのパフォーマンス・ポエトリー(ASLポエトリー)を習った彼女は、勇気を出して健聴者のポエトリースラムに参加する。それを通じて、イスラエルからの移民であるアネタは健聴者でパレスチナ出身のスラムポエトのタハニに出会い、2人は手話と声のパフォーマンス・デュオを組んで活動するようになる。意思の疎通と友情の力が、政治・障害の壁を超える。手話を使う人々の表現力とバイタリティーに圧倒される。

70分 2010年 アメリカ ドキュメンタリー 監督:ジュディ・リエフ

4 トークショー

15:30~16:30

聞こえない × 聞こえる トークショー
映像作家 × 映像作家



大館 信広 おおだてのぶひろ

ろう映画制作グループ「デフムービーエンターテインメントプロディア」代表及び監督。1959年7月茨城県生まれ、神奈川県横浜市在住。独学でこれまで代表作「迂路」など20本近く作品を手掛けており、欧米の映画祭に多く参加している。



濱口 竜介 はまぐち りゅうすけ

1978年、神奈川県生まれ。2008年、東京藝術大学大学院映像研究科の修了制作『PASSION』がサン・セバスチャン国際映画祭や東京フィルメックスに出品され高い評価を得る。その後も毎年、精力的に新作を発表し続けている。



今村 彩子 いまむら あやこ

愛知県出身。愛知県立豊橋高等学校高等部、愛知教育大学教育学部卒業。カリフォルニア州立大学ノースリッジ校留学(映画学科・アメリカ手話・アメリカ文化を学ぶ)。豊橋高等学校講師を経て、現在、名古屋学院大学と愛知学院大学非常勤講師。さまざまな立場の人が自分らしく輝くことのできる社会をつくっていくとろう者を取り上げたドキュメンタリー映画を制作。自主上映や講演活動も精力的にこなしている。

進行 横地 由起子 (京都シネマ支配人)

交流企画

前夜祭 2/1[土]

★映像祭出演ゲストと語ろう!★

▶詳細はホームページへ! ▶申込は事務局まで

会場:全国手話研修センター
コミュニティ嵯峨野3階「嵐山」
(JR嵯峨嵐山駅徒歩1分)

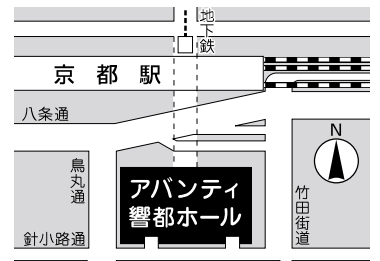
日時 2014.2/2[日] ▶10:00~17:00

会場 龍谷大学 アバンティ 響都ホール

〒601-8003 京都府京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階
(京都駅八条東口より徒歩1分)

チケット

当日受付いたします
一般: 1,000円
学生: 500円
未就学児: 無料



お問合せ先

第10回さがの聴覚障害者映像祭 実行委員会 事務局
全国手話研修センター企画課 〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4
FAX 075-873-2647 TEL 075-873-2646 ホームページ <http://www.com-sagano.com/>